

《地域で子どもの育ちを見守る児童館》—上山口児童館—

児童館・青少年会館は、子どもたちがいつでも誰でも利用できる地域の遊び場です。

乳幼児の利用→平日の9時～14(or15)時

小・中学生と一緒に使う場合、18時まで利用できます。

《あそびのひろば》(火)(木)(金)10時～12時 葉山在住の方対象

目的—子どもと親の友だち作り

遊び場の提供

〈人と人との出会いの場〉

友だち作り

新しく参加される方の紹介(転入なども含む)

同じ話題のありそうな人とのつながり(子どもの月齢、ご近所、きょうだいのつながり)

〈情報交換の場・癒しの場〉

親同士のおしゃべり、指導員とのおしゃべり

→ストレス発散

→健診、予防接種の情報

離乳食、断乳、トイレトレーニング、幼稚園の話題など

〈遊びの場〉

遊具、おもちゃの設置。手作りのおもちゃを用意。

絵本や親向けの本の貸し出し

手遊び、紙芝居、絵本の読みきかせ

・外部との協力

子ども育成課保健師(健康相談日、専門的な相談のつながりなど)

おはなし会などのボランティア

・あそびの様子

☆同年齢で遊びたい(同年齢遊びの良さ)

子どもが同じペースでゆったり遊べる。

初めて会うお母さんお父さんたちでも、子どもの成長の度合いが同じ時期なので、同じ悩みや共通の話題で打ち解ける。

両親教室、健診、児童館、幼稚園、小学校…と続く仲間

→第一子や転入して来た子の親は、初めは同年齢の子の親を探していることが多い。

☆異年齢で遊びたい(異年齢遊びの良さ)

少し大きい子、少し小さい子を見ることでお互い刺激になる。

お兄ちゃん、お姉ちゃんのマネをして育つ。

先輩お母さんお父さんの話が参考になる。

※(火)(木)(金)とも0・1・2才の異年齢で受け入れ、静かにゆったり遊びたい方のため
〈あかちゃんひろば〉のスペースを用意しています。

《自由来館》(月)(水)

何も無いところに来て、手遊びや読みきかせなしで、自由に遊びたい。

町外の友だちと遊びたい。

※乳幼児の親子の児童館の利用をみていると、お友だちとの出会いを求めて来たり、お友だちと誘いあわせて遊びに来たり、お気に入りのおもちゃで遊びたかったり…と、それぞれの理由があって集まって来ています。

また、午後や土曜日の様子では乳幼児が小学生と一緒に遊んでもらったり、お父さんお母さんが小学生と一緒にボール遊びなどしてくれたり、おじいちゃん・おばあちゃんが孫を連れて来たり、いろいろな世代の交流がみえます。

(小学生のほうも、小さい子のお世話をしたり、小さい子がいるから遊びを加減したりしています。)

※乳幼児の時に親子で児童館に来ていると、その子が小学生になって遊びに来ても、親は自分の子どもがどういうところで遊んでいるか、なんとなく分かります。

また、午前中、弟や妹を連れて遊びに来ている親は、午後から小学生の兄や姉が遊びに来るときの情報交換を指導員としやすかったりします。

※小さい時から来て慣れていると、小学生、中学生、高校生と成長していく段階の悩みに応じて、子どもからも、親からも相談を受けやすい場でもあります。

小中学生・高校生の利用→放課後、土曜日、春・夏・冬休み

子どもたちは、放課後自由に遊びに来ます。

地域の中で、学校で、一緒に遊ぶ仲間が学年の枠をこえて、放課後も一緒になって遊びます。

毎月企画する行事に参加する子もいます。

中学生や高校生は、小学生の遊び相手になってドッジボールや卓球など一緒に遊んでくれる時もあります。

中学生は職場体験として、乳幼児とかかわったり、小学生の相手をしたり、行事の企画やおもちゃの製作など、いつもとは違った立場でかかわることもあります。

《学童クラブ》

町内の4小学校のそれぞれ近くの児童館(青少年会館)に学童クラブがあります。

両親の仕事や病気などの理由で、放課後も家庭が留守になる小学生(1~3年生)は学童クラブに登録できます。

- 子どもたちは、「ただいまー」と帰って来て、おやつを食べ、友だちと遊んだり、宿題をやったり、おけいこに出かけたり、それぞれ思い思いに過ごします。
- ランドセルを背負って帰ってくる、連絡帳がある、帰館時間、帰宅時間の確認がある、緊急時の対応がある、など一般来館の子どもとの違いがあります。
- 遊んでいる間は、一般来館(家に帰ってから遊びにくる)の子と、一緒です。地域、学校の仲間と同じ立場で、同じように遊びます。子どもの世界に区別はありません。
- 学童のみの施設ではないので、いろいろな友だち、高学年の子(時には幼児)とも遊ぶことで、遊びの幅も広がって行きます。

※児童館は、家庭でもない、学校でもない、自由な遊び場です。そのために、子どもたちは、他では見せない一面をのぞかせます。

※子どもたちは成長にあわせて、生活の場を変えていきます。家庭、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、…そして地域に帰ってきます。

赤ちゃんだったころ、お母さんお父さんと一緒に遊びに来ていた子が、小学生になって一人で遊びに来たり、中学生になって職場体験に来たり、親になって子どもを連れて来たり、児童館は一人の子どもの成長を同じ場所で見守り続けるところです。